

これからの 若い世代のために

保育所の運営マネジメントの問題を、あなたの立場に立って考えてくれる誰かに相談したい！

自分と同じように保育に携わる人の意見や思いを聞いてみたい！

自分の情熱や思いを爆発させたい！

青年部は、そういう“あなた”のために活動しています。

意見は合わなくても、思いはそれぞれでも、受け止めてくれる仲間がいる。

青年部はこれからの保育を考え、互いに切磋琢磨しながら成長していく、次代を担う私たちの活躍の場です。

仲間が集まれば
何だって挑戦できる

青年部で仲間が増える

青年部に入会する最大のメリットは、やっぱり仲間が増えること。研修で共に学び、様々な活動で共に行動することによる交流はもちろん、レクレーションなどを開催して親交を深めます。

一般社団法人

鹿児島市保育園協会

青年部



会員募集

青年部の活動内容

- 保育制度に関する勉強会
 - 保育の質の向上に関する研修会
 - 保育所の運営（マネジメント）や経営に関する研修会
 - 会員の親睦を深める交流会など
- ※青年部では会員の意見を取り入れて活動しています。

青年部への入会方法

青年部には鹿児島市保育園協会会員園の職員で、45歳以下であれば男女問わず正会員として入会できます。45歳以上は、賛助会員として入会できます。

詳細については、下記事務局へお問い合わせください。

年会費無料

正会員、賛助会員を問わず、年会費は無料です。

青年部事務局

鹿児島市坂之上6丁目30-17 坂之上第2保育園
事務局長 山之内 健郎

TEL 099-210-5771 FAX 099-210-5756

ホームページアドレス <http://kago-hoiku.jp/>

Email sakanoue2nd-hoikuen@movie.ocn.ne.jp

鹿児島市保育園協会 青年部について

鹿児島市保育園協会青年部は、青年らしい発想と行動力をもって、地域保育園界の発展及び地域振興に寄与することを目的として活動しています。

鹿児島市保育園協会青年部は、その目的達成のため、次の事業を行っています。

- (1) 研修及び保育運営の効率化、改善等の研修
- (2) 乳児保育に関する情報等の収集、会員への情報提供
- (3) 保育制度、行政の研究と会員へ知識普及
- (4) 鹿児島市保育園協会事業への支援
- (5) 会員相互間の親睦
- (6) 青年関係諸団体との連携

鹿児島市保育園協会青年部の会員は、鹿児島市保育園協会に加盟する園の各々の下記(1)及び(2)に該当する者としてします。

- (1) 満20歳以上、満45歳以下の年度末までの入会を希望する者を正会員とします。
- (2) 賛助会員となることを希望する者は、役員会で承認を得て賛助会員になることができます。ただし、総会の議決権は有りません。

鹿児島市保育園協会青年部会員は、鹿児島市保育園協会内の他の委員会の委員も兼務することができます。

若い力で漕ぎ出そう!

～発想・行動・情報発信～

鹿児島市保育園協会青年部は、青年保育者ならではの発想で、研修会の実施・乳幼児保育に関する情報収集及び発信・鹿児島市保育園協会への支援・会員同士の意見交換などを行っています。平成29年5月に発足し、現在は20歳から45歳までの正会員と45歳以上の賛助会員の計20名ほどで活動しています。会員の各施設での役職としては、園長・副園長・事務・主任などの職が多くを占めています。

目的と並行して、リーダーシップを発揮できるよう次世代の管理者育成への努力も行っています。

また、青年部の活動の中でも、会員同士において人気の高いことは、意見交換の場です。それぞれ個人や各施設での悩みなどを意見交換・相談し、結果、解決の糸口となっているようです。「うちではこんな風になっているけど、他園ではどんな風に取り組んでいるのだろうか?」ということに対しての知識を得ることが大変好評をいただいているようです。

必ず貴方のお力になれる青年部ですので、いろいろな情報を得つつ、私たち保育園の未来に向かって一緒に活動してみませんか。



一般社団法人
鹿児島市保育園協会青年部
部長 日高 真琴

○仲間

現在、青年部会員は20名程度です。女性会員も活躍しています。青年部では、共に学び、悩みを共有し、お互いに交流を深めています。



“仲間に出会う”それが青年部のいいところ。

○研修

年間の計画は年度で異なりますが、概ね年3～4回程度開催しています。お互いに情報を持ち寄り、保育制度に関する勉強会を開催するなど、身に付く研修となるよう工夫しています。



身に付く研修となるよう工夫しています。

“青年部は行動しています”



◇賛助会員も
募集しています

私も賛助会員です!